

No7

下野市立石橋中学校



校長室だより

スローガン ～生徒も先生も、自ら輝く学校～

目指す学校像

『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成
キーワード「自立・貢献・創造」令和5年10月3日(火)
発行者 田熊利光

石橋中ホームページQRコード

地区新人大会の成績

9月29日(金)～10月1日(日)に地区新人大会が行われました。3年生引退後の新チームでしたが、どの部も、力を出し切って良く頑張りました。また、どの部も応援に行くと気持ちの良い挨拶ができていました。県大会に出場する部は、地区の代表として、県大会でも力を発揮して頑張らしましょう。惜しくも県大会出場を逃した部も、あと一步という素晴らしい戦いぶりでした。今回の試合で得た課題を分析して、次こそは目標達成できるようチーム一丸となって努力してください。勝負は来年の地区総体と県総体です。

(個人戦は県大会出場者 敬称略)

野 球	2回戦敗退	
サッカー	3回戦敗退	
バスケットボール男子	第3位 県大会出場なし	
バスケットボール女子	準優勝 県大会出場	
バレーボール男子	第5位 県大会出場	
バレーボール女子	第3位 県大会出場	
バドミントン男子	団体戦 県大会出場	シングルス第3位 県大会出場 高山慈貴
バドミントン女子	団体戦1回戦敗退	ダブルス第3位 県大会出場 満山優奈・栗野聖菜
ハンドボール	男子1回戦敗退 (県大会出場)	女子1回戦敗退 (県大会出場)
卓球男子	団体戦ベスト8 県大会出場なし	男子シングルス ベスト16 樫浦快人 県大会出場
卓球女子	団体戦ベスト8 県大会出場	シングルス優勝 原 七星 ベスト16黒岩結麻・倉井万和 県大会出場
ソフトテニス男子	団体戦2勝2敗	
ソフトテニス女子	団体戦1勝1敗	
柔 道	男子団体戦第5位 県大会出場 男子個人戦 県大会出場者 ○50kg級 準優勝 野澤和生 ○60kg級 優勝 杉山翔生斗 ○90kg級 超級 3位 渡邊蓮士	女子団体戦第3位 県大会出場 女子個人戦 県大会出場者 ○個人戦優勝 磯 結奈 ○個人戦優勝 横関心結 ○個人戦3位 高橋侑愛 ○個人戦準優勝 大関美緒
剣道男子	男子団体戦 県大会出場	
剣道女子	女子団体戦 県大会出場	
陸上競技	県大会出場者 2年女子200m 2位 鈴木ひかり 2年女子走り幅跳び 2位 厚見珠那 男子リレー 2位 服部泰誠 高山桐矢 平賀旬 千野根悠介	

県大会

水 泳	前田希音	200メートル自由形 2位	400メートル自由形 1位
-----	------	---------------	---------------

下都賀地区学校音楽祭の結果

合唱の部・合奏の部 「栃木県音楽祭中央祭」への出場決定! おめでとうございます!

9月25日(月)に行われました下都賀地区学校音楽祭で、見事、合唱の部・合奏の部の両方で栃木県音楽祭中央祭への出場を果たしました。合唱の部は3年生男子による選抜メンバーの合唱でしたが圧巻の仕上がりでした。男性だけの合唱は、石橋中だけでした。合奏も素晴らしい演奏で、聴く人を魅了していました。

中央祭の日は、合唱の部10月23日(月)・合奏の部24日(火)です。皆さんの活躍を期待しています。

【輝石祭ゼミ活動についての説明】

運動会も3年生中心に、全校生徒が心を一つにして頑張り最高の運動会を創造することができました。地区新人大会では、どの部も自分たちの目標達成のため全力で頑張る姿が素晴らしかったです。

さて、今月末には輝石祭があります。10月20日(金)午後(開会式・ステージ発表)・21日(土)午前中(ステージ発表・各教室での発表・閉会式)になります。そこで、石橋中学校が目指している新しい学びについて、皆さんに説明したいと思います。

新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を大切にした学びを創造することが求められています。石中の「学び合いの授業」は、仲間との対話を通して、友達の多様な意見を聴くことで、自分の考えを深めたり、仲間と共に協働することで、一人では解決できない課題を解決したりしています。一人一台のiPadのお陰で、**皆さんの学びは、「受け身の学び」から「発信型の学び」へと進化しています。**

今回の輝石祭のゼミ活動も「SDGs」の17の目標を達成するために、各縦割りゼミで、授業では扱えない深いテーマについて、時間をかけて追究します。まさに「主体的・対話的で深い学び」の手本のような活動だと思います。

現代社会は、貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。持続可能とは、何かをし続けられる、ということです。SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示した、つまり、ナビのようなものです。

人類はいま、そのナビが示す方向に進めているのでしょうか?そして、みなさん自身はどうでしょうか?さまざまな社会の課題とSDGsとのつながりを知り、「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいだろう?」「SDGsの達成のために、自分はどんなことができるだろう?」

私たち一人一人が、それを考えて行動することが大切であるということを、皆さんの力で世界に発信してほしいと思います。

昨年同様、今年の輝石祭も、皆さんが本気で取り組み、本気で発表している姿を見せてください。輝石祭のゼミ活動を通して、自分たちがより良い未来の作り手であるという「自覚と責任」、自分たちはやればできるんだという「自信」をもってほしいと心から願っています。